

(2)まちづくり懇談会での意見

番号	意見の要旨
1	・財政危機と強調されるが、なぜそのような状況なのか理解できない。納得の行く説明をしてほしい。
2	・水中ウォーキングやアクアエクササイズについては、運動療法やリハビリの要素が高くなっているため、区民の生命を守るために事業の継続をお願いする。
3	・周辺区に比べて議員の数が多し。 ・ごみの有料化を撤回した理由を説明してほしい。
4	・公務員が、非常勤ばかりになるのは困る。 ・JR跡地は、福祉目的での定期借地権による活用であったと思う。売却は許されるものではない。
5	・図書資料費は削減され続けられている。あらゆる分野の資料を整えるのが、図書館である。利用時間の延長等利用者の声を聞いてほしい。 ・大橋図書館は老朽化してはいるが、再開発ビルに移設させなくても、現在地のままのほうが、経費がかからなくてよい。そのほうが、駒場などの方は、利用がしやすい。
6	・めぐろ住宅・街づくりセンターの縮小廃止があるが、区民が手弁当で、講師などを行っている。廃止となれば、区民が、手伝っている事業もなくなってしまう。
7	・区議会議員の削減策を出してほしい。 ・区有地の売却を進めるといって、平町エコプラザの隣地の緩衝緑地こそ、売却対象とすべきである。
8	・リーマンショック後の景気低迷で税収が落ちるのは当然で、区民はとてつもない状況の中納税している。大規模開発よりも区民の生活を守ることを優先するよう望む。 ・ボーナスも無く働いている人たちのこと、非正規で働く人たちのことを考えたら、区政の経営管理に当たる人たちが7,300万円しか削減しないのは納得できない。
9	・住区センターや商店街、地区サービス事務所にちょっとした工夫のできる授乳室をもっと作ってほしい。 ・ちょっと立ち寄れるスポット(世代をこえて)を作って、地域コミュニティにまだ入っていない0~3歳児のいる家庭と、地域をつなげる場所づくりを提案する。
10	・街づくりセンターは人件費の削減はいいとして、区の縦割りでない組織なので、機能だけでも継続してほしい。 ・地震の学習館が廃館になるのなら、それに代わる防災を考える機会を新たに設けてほしい。 ・車で来庁して思うことは、入り口から入って駐車するまでの誘導員が多すぎる。5人も必要ないと思う。削減できるのではないかと。
11	・中根小内学童保育クラブの民営化を事前の説明会で何も知らされていなかったため不安を感じている。公営の継続がベストであるが民営化する場合には、引継ぎに関して十分な時間とフォロー体制を区として整えることをお願いする。
12	・箱根保養所の廃止を白紙にして続けてほしい。
13	・今回の見直し問題に関し少なくとも1年かけて、一つ一つもっと区民の考えと、区の考えをつきあわせて検討してから決定するようにしてほしい。これからの目黒をどう作っていくのか、区民共々考えあわせて決めてほしい。 ・JR跡地を売る事は、目黒区の将来を見通したとき、絶対賛成できない。 ・議員の海外視察などもそのまま残すことは、納得いかない。
14	・JR跡地の売却はもってのほかで、大岡山や守屋教育会館跡など寄贈された土地の売却は区民感情からも避けてほしい。土地は売らないでもらいたい。 ・区職員の削減はやめてほしい。自治体労働者は住民への奉仕者である。50代の職員は自然に減ることだし、若い職員の採用を積極的に進めてもらいたい。
15	・区の幹部の減給や、区議の海外視察を廃止してほしい。正規公務員の数を減らしたりすることは長期的に見てマイナスである。 ・区民の財産である土地売却しないでほしい。特養ホームや保育園を増設してほしい。 ・「財政危機」などまやかしのベースに見直しをすすめるのではなく、「住み続けることのできる目黒区のために」行政の無駄をなくしてほしい。
16	・区民への犠牲を強いてまで行っている再開発をやめてほしい。
17	・中根小学校内学童クラブについて、急に民営化の話が持ち上がった。移転同様、別途説明と話し合いの場を求める。
18	・今回の状況は、事業の縮小だけでは乗り切れないのではないかと。今後の取り組みについて説明してほしい。 ・区有地の売却は、一度行ってしまえば、おしまいだ。大事にほしい。

19	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが受ける放射線量は、年間1ミリシーベルト以下とする条例の制定を求める。 保育園給食の食材は産地を公開するとともに、弁当持参を自由にしてほしい。
20	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育クラブの民営化に反対する。大震災時の対応からも、親が帰宅するまで、遅くまで、預かってもらえた。短絡的に考えず、再度の検討をしてほしい。
21	<ul style="list-style-type: none"> 東山小学校の改築について再検討してほしい。
22	<ul style="list-style-type: none"> 今回の資料で削減額はわかるが、もともとの予算がいくらなのかわからない。わかるようにしてほしい。 都市整備費の削減に比べ、教育関係の削減が多い。土木・都市整備をもう少し削れば、楽になる。
23	<ul style="list-style-type: none"> 議員報酬等、区議会にメスが入っていないではないか？ イベント予算の削減があるが、消費生活展は、他のイベントと違い啓発である。削減されるのは困る。
24	<ul style="list-style-type: none"> 区職員人件費が高いのは、住区開設するときに採用した職員が多いとのことだが、住区制度を廃止すべきでないか。
25	<ul style="list-style-type: none"> 住区については、町会と重複しているため廃止したほうがよい。
26	<ul style="list-style-type: none"> 区有地売却であるが、JR跡地は、売らないでほしい。
27	<ul style="list-style-type: none"> 目黒清掃工場建の建替え計画があるが、規模を変えないでほしい。 区民祭りのファミリーコンサート廃止、修正してほしい。
28	<ul style="list-style-type: none"> 平和記念事業の削減は、やめてほしい。 男女平等共同参画センターの削減はやめてほしい。
29	<ul style="list-style-type: none"> 「産-39」消費生活展で100万円の削減は、84%も削減されている。せめて50%くらいにしてほしい。 このような事態をまねいた区長の責任は重い。本給、期末手当の50%ダウンを求める。
30	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育クラブは、民間に変えていくのではなく、直営を残してほしい。
31	<ul style="list-style-type: none"> 目黒区の財政力は高いと聞いている。何故このような状況になのか説明してほしい。 収入確保策にもっと取り組んでほしい。
32	<ul style="list-style-type: none"> 補助26号線の整備には東京都から周辺整備の経費を拠出させ、整備を行うべきだ。
33	<ul style="list-style-type: none"> 目黒は、第2の夕張であるという宣伝が故意にされた。目黒区にマイナスイメージを持たせないでほしい。夕張市との違いを広報で主張してほしい。広報戦略を立ててほしい。 区有地の処分は、慎重にしてほしい。区民の共通の財産である。
34	<ul style="list-style-type: none"> 給与報酬見直しをみれば、一般職員の給与削減までには至ってはいない。区職員の給与体系は、高い。削減分を職員人件費に充てるのではなく、高齢者施設、特養、子育てに充ててほしい。
35	<ul style="list-style-type: none"> 税金を一括納入すれば、割り引く制度はできないか。
36	<ul style="list-style-type: none"> 東山小学校改築の延期は反対。1番に整備してほしい。碑文谷体育館も同様。 高齢者への福祉削減は絶対反対である。第4特養は早期整備してほしい。
37	<ul style="list-style-type: none"> 児童、高齢者に関係する予算は削るべきではない。 副区長の退職金カット5%は納得できない。 庁舎内に案内人はいない。無駄遣いである。
38	<ul style="list-style-type: none"> 東山小学校内に開設予定の情緒障害児学級について「事業延期」となっているが、廃止を希望する。 教員を東京都に一任するのではなく、目黒区独自の障害児教育の教員の育成を希望する。
39	<ul style="list-style-type: none"> 職員・区民参加による政策・計画の見直しを要望する。
40	<ul style="list-style-type: none"> 権限と責任において、更なるダイナミックな仕事をお願いする。議会に対しても「3無い主義」と言われる「提案しない、反対しない、改革しない」等を脱して貰いたい。

41	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の整理、講座等の有料化と効果測定を求める 関連団体への区の関与を強化するべきである。 碑文谷体育館門扉の開閉業務を統一するか地域住民または青パトにより行うようにしてほしい。
42	<ul style="list-style-type: none"> JR跡地の売却については、懇談協議会に区長が出席して説明してもらいたい。
43	<ul style="list-style-type: none"> JR跡地は、特養ホームを造ってもらいたい。
44	<ul style="list-style-type: none"> JR跡地は資産価値が高い場所である。売却するならば高値の時期にしてほしい。
45	<ul style="list-style-type: none"> 都区財調算定基準の見直しを都と協議してほしい。 歳入確保策として、本庁内にコンビニエンスストアを入れるなど空間を有効活用してほしい 区民意見を聞く期間が短すぎる。もっと検討する時間がほしい。
46	<ul style="list-style-type: none"> 区長報酬は更なる削減を。 東山小学校の改築は、借金をしても行うべきである。 第四特養は延期したのならJR跡地に造るのもいい。 高齢者在宅サービスセンターの廃止は、止めてほしい。 補正で基金を積み増せるなら子どもの施設に予算を使ってほしい。
47	<ul style="list-style-type: none"> NPOや民間への業務委託により人件費の削減を図ってほしい。
48	<ul style="list-style-type: none"> 区長の報酬を削減するより、目黒区を今後どのようにしていくのか、根本的な改革を行い、魅力的なまちにしてほしい。
49	<ul style="list-style-type: none"> 在宅介護の紙おむつ代、配食サービスを削減するのは止めてほしい。 財政健全化した後の目黒はどうか？その後、再開発に経費をつぎ込むことは止めてほしい。
50	<ul style="list-style-type: none"> 都立大跡地の整備や庁舎移転は正しいと言うが、今後の大規模開発等をどのように考えているのか説明してほしい。 基金について、このような時だからこそ活用してほしい。
51	<ul style="list-style-type: none"> ふえすた環境in目黒を継続事業にしてほしい。 目黒エコプラザの廃止(1ヶ所)は止めてほしい。 中目黒のJR宿舍跡地を売却しないでほしい。
52	<ul style="list-style-type: none"> JR跡地は売却せず、特養を整備してほしい。
53	<ul style="list-style-type: none"> 24年度の収入内訳を説明してほしい。
54	<ul style="list-style-type: none"> 人件費割合が高いというが、今後、自然回復されるはず。目黒の窓口対応は他区よりいいと言われている。今後も他区に誇れる区政を行ってほしい。
55	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護数が増えたということは、福祉職場は多忙となるため職員削減には反対である。 JR跡地は近隣の人たちだけの意見を聞くだけでなく、全区的に意見を聞くべきです。
56	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるまちづくりは、人口を増やし税収を伸ばす。西小山のまちづくりを住民主体のまちづくりとして推進してもらいたい。
57	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は8館独立を維持してほしい。
58	<ul style="list-style-type: none"> 職員削減によって、サービスが低下してしまう。職員の能力も向上させてほしい。
59	<ul style="list-style-type: none"> 目黒区は財源不足ではないと思う。高齢者や子育てに重点を移すことが大事ではないか？ JR跡地は、中目黒駅に近く大手不動産にとって魅力的な土地だが、区民のために、使ってほしい。また守屋の土地は、目黒区で使ってほしいと寄付された土地であり、区民のために使ってほしい。
60	<ul style="list-style-type: none"> 区有資産の売却が検討されているが、保育園の増設を要求しても「土地がない」といつてきた。安心して住みつづけるためにも特養ホームの建設、東山小学校改築、碑文谷体育館改修は急がれる。 区民生活優先の区政運営に改めることを切望し、素案の見直しが必要でこの案には反対。

61	<ul style="list-style-type: none"> ・西小山駅付近の品川区は商業地区が大きいが目黒区は狭く、人口を呼びこめるマンションなどの建設が困難である。都に対して見直しを求めるべきである。 ・収入を増す方策として、全国でのワースト順位で高い西小山をこの街づくりで解消してほしい。
62	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップの要望
63	<ul style="list-style-type: none"> ・ハコもの行政のツケを子どもや障害者、高齢者など弱い者に押しつける今回の180億円の事業見直しは撤回してもらいたい。 ・子どもの保育園や学校に関する予算を削るのはやめてほしい。 ・学校や区の施設の小規模な改修工事などは地元の建設業者に発注してもらいたい。 ・がん検診や保育園の歯科健診を減らすのはおかしい。おむつ代まで削らないでほしい。 ・こうした重大なことをたった2週間できめてしまうやり方もおかしい。責任と説明を果たすべき。
64	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅センターでの会合は有料に戻してほしい。